



## 「大師号」考

(株) エフ設計コンサルタント

天野 大 (AMANO HIROSHI)

建設部門, 上下水道部門, 環境部門

総合技術監理部門

### 1. 「いのちの理由」 さだまさし作詞・作曲

私が生まれてきた訳は 父と母とに出会うため  
私が生まれてきた訳は きょうだいたちに出会うため  
私が生まれてきた訳は 友達みんなに出会うため  
私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会うため

春来れば 花自ずから咲くように  
秋くれば 葉は自ずから散るように  
しあわせになるために 誰もが生まれてきたんだよ  
悲しみの花の後からは 喜びの実が実るように

私が生まれてきた訳は 何処かの誰かを傷つけて  
私が生まれてきた訳は 何処かの誰かに傷ついて  
私が生まれてきた訳は 何処かの誰かに救われて  
私が生まれてきた訳は 何処かの誰かを救うため

夜が来て 闇自ずから染みるよう  
朝が来て 光自ずから照らすよう  
しあわせになるために 誰もが生まれてきたんだよ  
悲しみの海の向こうから 喜びが満ちて来るように

私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会うため  
私が生まれてきた訳は 愛しいあなたを護るため

この歌とのはじめての出会い、ある会で中学校の先生がギター片手に歌ってくれた時だ。心に染み入るメロディ、歌詞もイイ。早速、どんな経緯でできたのかを調べる。

なんと、法然上人の没後 800 年の遠忌 (2011 年) に、上皇明仁から「法爾大師」を贈られたのを記念してだ。そして、法然が大師号を贈られたのは、これで 8 度目だという。

## 2. 素朴な疑問

「大師」といえば、弘法大師（空海）だ。他に、伝教大師（最澄）位しか浮かばない。

では、法然は、なぜ8回も大師号を贈られたのか？

そんな素朴な疑問を、周りに投げかけていた。

この夏、長崎の義兄からひとつの回答を得る。第1回長崎学公開講座で「隠元禅師に贈られた国師号と大師号」という講演を原田博二さんがされた。それによると、これまで複数回贈られたのは、隠元禅師と法然上人だけ。隠元禅師が嚆矢だという。

「50年の遠忌ごとに大師号もしくは国師号を贈ることが例になったのは、隠元の50年の遠忌（1722年）からで、源空（法然）のそれは隠元の例に倣ったものと考えられる」

それで、終わり？そんなに簡単に、大師号などをいただけるものなの？

### (1) 国師号と大師号

ここで、簡単なおさらい。

国師号、大師号とは、僧侶の尊称である。国家を代表するような高僧に、天皇や上皇から贈られたもの。在世中に贈られる場合：特賜（とくし）。示寂後の場合：諡号（しごう）。唐の制度をまねたといわれる。

わが国最初の国師号は、1311年、臨済宗東福寺を開山した円爾弁円に花園天皇が贈った「聖一国師」で、以後、主に禅僧に贈られたとある。

また、わが国最初の大師号は、866年、天台宗最澄と円仁に、清和天皇が贈った「伝教大師」と「慈覚大師」だ。ちなみに、真言宗空海は、3番目で、921年、醍醐天皇が「弘法大師」を贈った。同時代人である最澄の55年後というのは、何かの意思を感じる。

一方、「『大師』は弘法に奪われ、『太閤』は秀吉に奪わる」ともいわれる。それだけ、国民的にもファンが多い、より身近な存在なのだろう。また、知名度が低いのは、それだけ他の高僧は、庶民とはかけ離れた存在ということか。

### (2) 隠元禅師

明末、清初期の中国僧である。

本年2022年は、隠元禅師の示寂後350年ということで、今上天皇より「厳統大師」が贈られた。明代末期の僧であるが、当時、中国のみならず、日本にもその高名が鳴り響いていた。

日本は、江戸時代。長崎興福寺の住職が「三顧の礼」をもって、迎えたとある。実は、四顧の礼だ。その一度は、招請状とともに、支度金も海賊に奪われ、隠元の元には届かなかった。近松門左衛門作「国姓爺合戦」でも有名な、史実の鄭成功の仕立てた船で、1654年、64歳での来日を果たす。長崎の興福寺に入山。約1年間滞在している。のちに、京都府宇治市に黄檗山萬福寺を開く。



写真-1 隠元禅師（長崎歴史文化博物館）

表-1 (左) 大師号、国師号を贈られた僧 (抜粋)

名前	誕生	生誕地	逝去	帰魂地	生存期間	宗派
最澄 さいちょう	767/9/15	大津市	822/6/26	比叡山	58	天台宗開祖
円仁 えんにん	794/秋	栃木市	864/2/24	比叡山	69	天台宗山門派
空海 くうかい	774/6/15	善通寺市	835/4/22	高野山	60	真言宗開祖
法然 ほうねん	1133/5/13	岡山県久米郡 久米南町	1212/2/29	京都市	78	浄土宗開祖
隠元 いんげん	1592/12/7	福建省福州府 福清市	1673/5/19	宇治市	80	黄檗宗開祖
円爾 えんに	1202/11/1	静岡市	1280/11/10	(常楽寺)	78	臨済宗

禅宗の教えとともに、木魚をはじめ、土木建築様式や木版印刷、書道（墨跡）や絵画、彫刻の技法、医薬、音楽、煎茶やインゲン豆、スイカ、レンコン、タケノコ（孟宗竹）など幅広い文化をもたらす。当時の後水尾法皇も、4代徳川家綱・5代綱吉も帰依したという。

こうして、黄檗宗とともに全国に広がった黄檗文化が、元禄文化に多大な影響を与える。これほどの影響を、わが国にもたらした方だからこそ、生前に「大光普照国師」を、示寂後は「国師号」、そして「大師号」を贈られたのだろう。

### (3) 法然上人

平安時代末から鎌倉時代初期の僧である。

はじめ比叡山で天台宗の教学を学ぶ。1175年、叡山を降りる。専ら阿弥陀仏の誓いを信じ「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えれば、死後は平等に往生できるという専修念仏の教えを説く。のちに浄土宗の開祖と仰がれる。

世は、貴族同士の争いから、武士である平清盛が台頭。(1156年保元の乱。1160年平治の乱) 貴族から武士へと移り変わる時代の変り目。そこに大地震など天変地異が多発。(1177年大火で京都の町の1/3が焼失。1181年大飢饉で、京都で4万人以上が餓死) 民衆は不安と恐怖のどん底にあった。

出家して戒律を守り、修行しなければ助からないとする奈良や比叡山の仏教は、民衆を救う力を持たなかった。



写真-2 法然上人 (知恩院)

表-1 (右) 大師号, 国師号を贈られた僧 (抜粋)

国師号／贈年／贈り主				大師号(諡号)／贈年／贈り主									
—				伝教									
				866									
				清和天皇									
—				慈覚									
				866									
				清和天皇									
—				弘法									
				921									
				醍醐天皇									
通明				円光	東漸	慧成	弘覚	慈教	明照	和順	法爾		
1244				1697	1711	1761	1811	1861	1911	1961	2011		
後嵯峨天皇				東山天皇	中御門天皇	桃園天皇	光格天皇	孝明天皇	明治天皇	昭和天皇	上皇明仁		
大光普照	仏慈広鑑	径山首出	覚性円明	真空	華光	嚴統							
1673	1722	1772	1822	1917	1972	2022							
後水尾法皇	霊元上皇	後桃園天皇	仁孝天皇	大正天皇	昭和天皇	今上天皇							
聖一	神光												
1311	1930												
花園天皇	昭和天皇												

その時代に、一切の修行を必要とせず、すべての人が救われるとする仏教の真実を明らかにする僧として登場、その教えを広める。生涯、自らの寺を持たなかった。

### 3. 見える化

整理して、表にしてみる。(表-1)

今回は、開祖等名前がよくあがる僧(最澄、円仁、空海、法然、隠元、円爾)に限定した。

- ① 最澄：天台宗の開祖。比叡山には最新情報と教育システム等が充実しているのか、多くの優秀・有用な人材が集まる。法然も、そのひとりだ。
- ② 円仁：天台宗山門派。最澄の一番弟子とも目される。最後の遣唐使として、留学。その9年6ヶ月に及ぶ日記『入唐求法巡礼行記』は、有名。
- ③ 空海：真言宗開祖。最澄とともに学僧として唐に渡る。その異能をいかんなく発揮し、密教を請来する。一般庶民にも開かれた大学：綜芸種智院を創設。四国八十八ヶ所(遍路道・寺)を開設。宗教都市：高野山を建設するなど、超人(アデプト)ともいえる活動をした。今も、彼が眠る霊廟には、毎日食事が届けられる。自らの復活も、視野に入れていたのか? どのような未来を予見していたのか、不思議で、測りがたい。
- ④ 法然：浄土宗開祖
- ⑤ 隠元：黄檗宗開祖
- ⑥ 円爾：臨済宗。宋から持ち帰った茶の実を植え、茶を広める。静岡茶の始祖。国師号第1号と様々な資料には載っている。しかし、後嵯峨天皇か法然に贈った国師号の年代の方が古いのは、なぜ? …浄土宗大辞典には、その確証が取れていないと記載。

名前	世紀	8	8	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	
最澄				■	■	■																							
さいちよう				①																									
円仁			■	■	■																								
えんにん				①																									
空海			■	■																									
くうかい				①																									
法然									■	■	■	■																	
ほうねん									①												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
隠元																	■	■	■										
いんげん																					国師号	→	①	②	③	④	①	②	③
円爾									■	■																			
えんに														①													②		
徳川家康																		■	■	■									
徳川秀忠																					■	■							
徳川家光																						■	■						
徳川家綱																							■	■					
徳川綱吉																								■	■				
京都(皇居)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
東京(皇居)																									■	■	■	■	

図-1 大師号，国師号贈与の背景（50年単位）

(1) 権威

諡号とは，高僧の死後に天皇が贈る称号である。平安時代から 1000 年を超える伝統がある。なぜ，この伝統が 1000 年以上も，続いてきたのか？

「諡（おくりな）—天皇の呼び名」の著者野村朋弘さんは，次のように指摘する。

「天皇は，中世以降，政治的な権力を失っていくなかで，文化的権威を強くもつようになった。大師号を授ける権限は，天皇が伝統文化の擁護者であることを象徴的に示すとともに，各宗派に対して『宗教的な正当性』というお墨付きを与えることにつながる。また，宗派にとり，民衆救済を広めるうえで，天皇の権威や正当性というものが重要な意味をもっていた」

(2) 権力

大晦日には，浄土宗の総本山：知恩院で除夜の鐘を突く姿・音が京の風物として映される。実は，宗徒である徳川家康，秀忠，家光が三代にわたり，江戸初期に建てたものである。京都における徳川幕府の拠点として，二条城とともに，朝廷を牽制するという政治的な背景もあったといわれる。そして，江戸時代，知恩院の代々の門主は皇族から任命され，その皇子は将軍家の猶子（ゆうし）となった。

江戸時代，浄土宗は，徳川家の庇護を受けたということか。

権威と権力との関係、そのバランスの上に、「大師号」「国師号」もあるのだろう。  
以上を図示する。(図-1)

一方、宮内省の「大師国師号賜与(しよ)内規」は、明治半ばに廃止された。しかし、その後も申請があれば、前例が踏襲されたという。現在の宮内庁にも内規はなく、申請があれば、皇室と宗派とのかかわりや慣例に照らして判断されるという。(東京新聞)

#### 4. Why I was born ?

素朴な疑問が、現世的な話題・案件となった。今回、全ての国師、大師を調べきれていない。様々な知見をお持ちの読者諸氏からの助言を賜りたい。また、新たな情報もお教えいただけると有り難い。

一方、他言語に読み替えると、この歌の真意も見えてくる。

私の好きな歌詞は、次だ。

- ① to meet my father and mother
- ② to meet you, my darling
- ③ to protect you, my darling

史実は、勢至丸(法然の幼名)9歳の時に、押領使(警察権をもった武士)であった父が夜襲を受け、殺される。その父の遺言が「敵討ちをするな。復讐を連鎖させるな」であった。この生死の一大事の解決は、彼の人生の大課題となる。そして、法然が浄土宗を興したとき、彼に帰依したのは、彼の父を弑した男であった。そんな知識とともに、この歌詞をみると、また深く感じる。

以上

#### 【参考資料】

- ① 原田博二氏発表要旨「長崎学レポート第10号『隠元禅師に贈られた国師号と大師号』  
(長崎学レポート編集委員会)
- ② 原田博二氏基調講演「隠元禅師と黄檗文化」(NPO法人長崎史談会)
- ③ 若木太一氏講演「隠元—『万国の春』を心に—」(NPO法人長崎史談会)
- ④ ミュージアム県ながさき vol.5『『隠元さん』と長崎』, vol.9「隠元禅師と黄檗文化」  
vol.10「長崎と隠元～黄檗文化の広がり～」(長崎県文化振興課)
- ⑤ 姜 鶯燕・平松隆円共著「法然650年の御忌」(日本研究)
- ⑥ 長南瑞生著「法然上人の生涯と教え」(仏教ウェブ講座)
- ⑦ WEB版 新纂浄土宗大辞典
- ⑧ 司馬遼太郎著「空海の風景」(中公文庫)
- ⑨ 週刊朝日MOOK「週刊 司馬遼太郎9『空海の風景』」(朝日新聞出版)
- ⑩ 岡部博行著「天皇が高僧に贈る『大師号』って何？」(東京新聞2022年4月9日)
- ⑪ ウィキペディア(最澄, 円仁, 空海, 法然, 隠元, 円爾)